

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校1年 教科 国語 など

写真と動画で観察、いつでも見返せる!

使用するアプリケーション等
カメラ
(写真・動画)

単元・題材 しらせたいな、見せたいな

本時の目標 知らせたいものをよく観察して絵を描き、色・形・様子などの特徴を短い言葉で書ける。
(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

- ・動いているものを写真や動画で残しておくことができるため、単元の最後まで自分が題材を選んだ時の様子を思い出すことができる。
- ・拡大したり何度も見返したりすることができるため、細かい部分まで絵に描き、その特徴を細部まで捉えることができる。
- ・題材を絞りきれない児童には、撮った写真や動画の候補を見て教員が質問をすることで、題材を絞る一助とすることができる。



DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ① 前時に描いた絵を見て、学校にいる生き物や見つけたもので家の人に知らせたいものを決めたことを思い出す。

2 展開

めあて 知らせたいものをどのようにかいたらよいか、かんがえよう。

- ① 教科書の例で、書く内容や書き方を確かめる。
 - どんなことが書かれているか見つけ、数人の児童が発表する。
- ② 知らせたいものの特徴を書く。
 - 前時に自分が描いた絵を見ながら、知らせたいものについて短い文で書く。
- ③ 特徴について、ペアで確認をする。
 - 絵と短い文をペアで見せ合い、付け足しや間違いがないかを確認し合う。
 - ペアで確認し合ったことをもとに、もう一度知らせたいものの特徴を書き足したり書き直したりする。



3 まとめ

知らせたいもののとくちょうを、みじかい文でかくとわかりやすい。

- ① 本時のまとめ行う。
 - 自分の書いたものを見返し、どんなことを書いたのか確かめ、まとめる。
- ② 振り返りを行う。
 - ワークシートに書く。



DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① 絵や**端末で撮影した写真や動画を見返し**、学校にいる生き物や、学校で見つけたもので家の人に知らせたいものを決めたことを思い出す。
 - **前時に自分が撮影した写真や動画を見て**、決めたものを思い出す。



2 展開

めあて 知らせたいものをどのようにかいたらよいか、かんがえよう。

- ① 教科書の例で、書く内容や書き方を確かめる。
 - どんなことが書かれているか見つけ、数人の児童が発表する。
- ② 知らせたいものの特徴を書く。
 - **前時に自分が撮影した写真や動画を見ながら**、自分が描いた絵に知らせたいことを短い文で書く。
 - **書いている途中に、同じ題材を選んだ児童の写真や動画を見てもよいことを伝える。**
- ③ 特徴について、ペアで確認をする。
 - **写真や動画を見ながら**、絵と短い文をペアで見せ合い、付け足しや間違いがないかを確認する。



3 まとめ

- ペアで確認し合ったことをもとに、もう一度知らせたいものの特徴を書き足したり書き直したりする。

知らせたいもののとくちょうを、みじかい文でかくとわかりやすい。

- ① 本時のまとめ行う。
 - 自分の書いたものを見返し、どんなことを書いたのか確かめ、まとめる。
- ② 振り返りを行う。
 - ワークシートに書く。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・絵だけでは不正確なところも、写真や動画を何度も見直すことで細部まで詳しく捉えることができた。
- ・動いている様子を撮影したことで、知らせたいものの動き方についても短い文にすることができた。
- ・繰り返し見ることができる反面、写真や動画にとらわれすぎて、見る視点が絞れず、時間がかかってしまう児童もいると思われる。ワークシートを確認しながら、写真や映像の中で見るポイントを助言したり、質問することで視点を絞る支援を行うとよい。